

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）
2017年度（平成29年度）第4回理事会 議事録

[1] 開催：2017年12月1日（金）13：00～17：28

[2] 場所：JTU事務局（東京都渋谷区）会議室

[3] 出席者（理事23名、監事1名）：

岩城光英、國分孝雄、森崎俊紘、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、飯島健二郎、山倉紀子、鈴木貴里代、村瀬訓生、和田知子、関根明子、山根英紀、富川理充、増田芳一、大関辰郎、園川峰紀、小林洋、吉田隆雄、宗定敏文、川崎寛典、加納修二、森兵次（以上、理事）。荻原政吉（以上、監事）。

・専門委員出席（5名）

中山俊行（オリンピック対策チームリーダー）、
中島靖弘（マルチスポーツ対策チームリーダー）、
山本良介（アスリート委員長）、斉藤大輝（エイジグループ普及委員長）、
小金澤光司（技術副委員長）。

・事務局出席（4名）佐藤政人、坂田洋治、児玉健太、楠里紗。

[4] 議事の経過

JTU 定款第6章（理事会）第34条（決議）により、事務方が出席理事23名を個々に確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行い、定款第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された後、議事録確認者に大塚専務理事と園川理事、議事録作成者に事務方を指名して直ちに議案の審議に入った。

第0号議案）前回議事録

2017年度（平成29年度）第3回理事会の議事録案について、メール回覧済であることを報告した後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

・承認事項）2017年度第3回理事会（2017年9月27日JTU事務局開催）の議事録案

第1号議案）大会・合宿での安全管理対策関連

トライアスロン大会・合宿における安全管理に係る各案件の対応について、項目別の概要説明が大塚専務理事から、補足説明が各担当理事からあり、質疑応答の後、議長が項目別に賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1）大阪城大会対策チームの検証・改善報告（岸田常務理事）

大阪城トライアスロン大会（2017年開催）の検証・改善報告について、個人情報等の表記を修正し、関係省庁団体に報告書を提出することが承認可決した。さらに、当大会の2018

年開催について、諸改善提案に沿った内容により、開催準備を進めることが承認された。なお、同報告書は、前述の修正後にJTUウェブマガジンで開示することが了承された。

- ・承認事項2) WTS モントリオール大会での日本選手失格に対する対応方針 (和田理事)
WTS モントリオール大会における日本女子選手の失格判定について、判定不服の異議申し立てをITUに行ったが却下された。これを受け、スポーツ仲裁裁判所(CAS)に訴え手続きを行うことが報告された。

- ・承認事項3) 大会申込前セルフチェック (村瀬理事)
エイジグループ選手向け安全対策として、自己管理意識の向上を目的とした大会申し込み時のセルフチェックを導入する。各大会任意での導入を基本とし、2018年度より実施する。

- ・報告事項1) 第5回ナショナルチーム合宿(宮崎県、2017年1月21日) 事故調査報告(大塚専務理事)
調査の経過報告と今後の対応について、事故調査報告書の開示を前提に、ご遺族、所属チーム、関係各位と内容の精査を継続していることが報告された。

第2号議案) オリンピック対策チーム関係

オリンピック対策チーム承認事項について、中山リーダーから説明があり、飯島常務理事から補足があった。質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) エリート強化指定選手制度(2018年)
 - ・主要意見) 派遣規程(ユニフォーム規程) 補助金基準などは別途見直しを行う。
- ・承認事項2) ITU 公式大会・JTU 出場推薦基準(2018年)
 - ・説明骨子) WTS、WC 出場についてはオリンピック対策チームにて派遣選手を決定する。
- ・承認事項3) 第24回日本トライアスロン選手権(2018/東京・台場) 出場基準
 - ・主要意見1) 地域ブロック予選会の開催日程については事務局と各ブロックにて別途協議を行うこととする。
- ・承認事項4) JTU トライアスロン公式大会・出場推薦基準(2018年)
- ・承認事項5) NTT トライアスロン・ジャパンランキング(2018年)
 - ・説明骨子) ITU ポイントシステムの内容、名称が変更となる可能性があり、ITU の発表を待ち、本ランキングの発表を行う。

- ・承認事項 6) JТУ ジュニア強化指定選手制度 (2017 年)
- ・承認事項 7) 日本 U23・U19・U15 トライアスロン選手権出場基準 (2017 年)
- ・承認事項 8) JТУ トライアスロン・ジュニアランキング (2017 年)
- ・承認事項 9) JТУ トレーニングセンター・強化拠点・強化クラブの整備事業と認定基準 (改訂)

・本改訂より活動拠点の法人化を必須とすることと、補助金内容は見直しとすることを前提に承認。

- ・承認事項 10) 第3回ユースオリンピック競技大会 (2018 ブエノスアイレス) 選考基準
- ・承認事項 11) JТУ トライアスロン・アカデミー事業の休止
 - ・説明骨子) 新規選手の受入れは行わず、事業を一旦見直しとする。

- ・承認事項 12) アジア競技大会 今後のスケジュール報告

・説明骨子) ミックスリレーの開催可否など詳細発表がなされていない状況である。公式発表後に出場基準の検証と発表を行う予定であることが報告された。

第3号議案) パラリンピック対策チーム関係

パラリンピック対策チーム承認事項について、富川リーダーから説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 日本スポーツ振興センター (JSC) トップアスリート アスリート助成対象選手

*谷真海選手 (助成対象期間 2017 年 10 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

- ・承認事項 2) 2018 年 JТУ パラトライアスロン強化指定選手制度
- ・承認事項 3) 2018 年 JТУ パラトライアスロン強化指定選手<第1期>
- ・承認事項 4) ITU World Paratriathlon Series および Paratriathlon World Cups 選手選考基準

- ・承認事項 5) 2018～2020 までの強化基本策

*目標：第16回夏季パラリンピック (2020/東京) における男女メダル獲得

チーム体制：男子、女子、PTWC の3グループに分け、それぞれ担当リーダーを配置

*男子：中央管理による強化 (主担当：富川リーダー)、女子：個別チーム強化と測定・研修合宿による強化 (主担当：松山マネージャー)、PTWC：パラ陸連、パラサイクリング連盟との合同合宿による強化 (主担当：富川リーダー)

*2018 シーズンの新たな取組み (パラ記録会の開催推進、ガイド発掘・育成プロジェクト、JISS を活用したフィットネスチェック、クラス分け担当の活動強化)

第4号議案) マルチスポーツ対策チーム関係

マルチスポーツ対策チーム承認事項について、中島リーダーから説明があり、質疑応答の

後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2018 年 JTU ロングディスタンス強化指定制度
- ・承認事項 2) アイアンマンプロ登録証明書の発行基準
- ・説明骨子) フルディスタンスと 70.3 限定なしの証明書と 70.3 限定仕様の 2 パターンの証明書を発行する。
- ・承認事項 3) 2018 年 JTU デュアスロン強化指定選手制度
- ・承認事項 4) 2018 年 ITU 世界ロングディスタンス・デュアスロン選手権出場基準
- ・承認事項 5) 2018 年 ITU 世界ウインタートライアスロン選手権日本代表選手選考基準
- ・承認事項 6) 2018 年日本ロングディスタンス トライアスロン選手権出場基準
- ・承認事項 7) 2018 年 JTU 主催共催ロングディスタンス トライアスロン大会エリート出場基準
- ・承認事項 8) 第 18 回日本デュアスロン選手権(2018/未定)エリート・U23・ジュニア出場基準
- ・承認事項 9) 2018 年 JTU 主催共催デュアスロン大会エリート出場基準

第 5 号議案) エイジグループ普及委員会

エイジグループ普及委員会の承認事項について、斉藤エイジグループ普及委員長から説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2018JTU エイジグループランキングシステムの改定
- ・改訂骨子) 日本エイジグループ選手権の新設。世界選手権出場権利付与方法の緩和拡大。

- ・承認事項 2) 2018 年日本エイジグループ選手権出場基準
- ・承認事項 3) 2019 年エイジグループ日本代表選手出場基準
(スタンダード、スプリント、ロングディスタンス・トライアスロン、スタンダード・デュアスロン、スプリント・デュアスロン、アクアスロン、アクアバイク、クロストライアスロン、ウインタートライアスロン)

第 6 号議案) 指導者養成委員会の関係案件

指導者養成委員会に係る案件について、事務局からの説明に続き山倉和彦理事から補足説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 日体協指導員と JTU 中級指導者資格 (改正案)
- ・日体協指導員資格を JTU 中級指導者資格の上位資格と位置づけ、JTU 中級の更新を不要とする。登録料を 2 万円とする。

- ・承認事項 2) 福井国体における JTU 指導資格の早期有効化の特例措置

- ・説明骨子)

- ・目的を「国体に監督として参加するため」に限定し、加盟団体内の有資格者が定数 2 名を満たしていない場合と有資格者の欠員が出た場合に限り、JTU 中級指導者資格を講習会受講後に仮承認とし、日体協指導員資格など、次の資格申請手続きを行うことができるものとする。なお、本特別措置は年度毎に見直すものとし、2021 年度以降の特別措置は行わない方針とする。

第 7 号議案) 福井国体におけるトップアスリートの予選会免除適用

福井国体におけるトップアスリートの予選会免除適用について、山倉和彦理事から説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 福井国体におけるトップアスリートの予選会免除適用方針

- 予選会免除対象大会（世界・アジア選手権、アジア大会）の申請は行わず、「国民体育大会参加資格の特例措置」にある「中央競技団体が定めた強化指定選手を特例の対象選手とする。」のみを適用とする。強化指定選手の対象は 2018 年 3 月初旬を目途に定める。

第 8 号議案) 国際審判員の育成基本骨子

国際審判員の育成基本骨子について、小金澤技術副委員長から説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、基準内容の精査及び 2020 年までの事業計画とロードマップを示すことを前提に基本骨子について承認可決した。

- ・承認事項 1) SFTO (Self-Funding Technical Official : 自己派遣テクニカルオフィシャル) 派遣方針

- レベル 1 を保有している国際審判を中心に SFTO 派遣を積極的に行う。派遣基準については再度内容の精査を行う。

- ・承認事項 2) レベル 2 ・レベル 1 資格取得セミナーの開催と選考

- レベル 2 資格取得セミナーを 2018 年秋開催検討。レベル 1 資格取得セミナーを 2018 年 3 月 3 日 (土) 4 日 (日) 日本財団ビルで開催。2020 年へのロードマップを再度審判・技術委員会で検討を行う。

第 9 号議案) 表彰等選出候補

表彰等選出候補案について、事務局から説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、次年度以降選考基準を事前に設けることを前提に、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 日本スポーツ賞・日本パラスポーツ賞 (読売新聞社) 推薦

- *日本スポーツ賞 推薦選手 「高橋侑子」
- *日本パラスポーツ 「谷真海」
 - ・承認事項2) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 (特別賞)
- *特別賞推薦選手 「谷真海」
 - ・承認事項3) 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰
- *優秀選手育成賞 「山根英紀 (JTU 理事)」
 - ・承認事項4) スポーツ庁スポーツ審判員顕彰
- *推薦審判員 「深井孝道 (愛知)」 「伊藤一博 (千葉)」

第10号議案) 会員・エントリーシステム、ホームページ等 改正案

会員・エントリーシステム、ホームページ等について、事務局から説明があり、質疑応答の後に、議長がその賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 会員登録システムの改修
- ・承認事項2) JTU ホームページの改修

[5] 報告と提案

1) JTU 経営戦略・ワークショップ開催 (大塚専務理事)

各理事からの意見を再集約の上、次回理事会 (3月25~26日) でワークショップを行うことが報告された。

2) 2020東京オリンピック・パラリンピック大会 (スポーツマネージャー: 鈴木理事)

大会運営について準備状況 (コース設定、テストイベント、水質対応) が報告された。

3) JTU 会員5万人計画進捗報告 (事務方)

事務方から現状のWEB登録に限った達成率の報告と、各ブロックの状況の確認がなされた。

4) 国内外大会カレンダー (事務方)

次年度の大会開催計画と五島長崎で日本ウルトラロングディスタンス選手権の新設も報告された。

5) 専門委員会・チーム一覧 (事務方)

専門委員会とチーム、担当理事について報告され、担当理事の役割と、エイジグループ委員会は増員を検討することが補足された。

6) JOCナショナルトレーニングセンター委員 選出 (事務方)

標記委員について、強化責任者である中山俊行オリンピック対策チームリーダーを推薦す

ることが報告された。

7) 選手同士の相互支援（小金澤技術委員副委員長）

ITU 競技規則における選手同士の相互支援の解釈について、レース中に起こり得るケースの整理を行い、個々の対応基準を ITU とも確認し、国内での適切な適用の重要性が報告された。

8) 高校生普及委員会（園川理事）

高校生の競技者及び関係者を対象としたフォーラム、シンポジウム開催を検討していくことが報告された。

[6] 次回理事会：

2017 年度（平成 29 年度）第 5 回理事会：2018 年 3 月 25 日（日）及び 26 日（月）2 日間開催（JTU 事務局会議室）予定。

[7] 閉会宣言

國分副会長の挨拶の後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、17 時 28 分に閉会した。

議事録署名人：

（岩城光英・議長・会長・代表理事）	（印）	2017 年	月	日
（荻原政吉・監事）	（印）	2017 年	月	日
（大塚眞一郎・専務理事）	（印）	2017 年	月	日
（園川峰紀・理事）	（印）	2017 年	月	日